

家庭学習の手引き

日置市立美山小学校

保護者の皆さまへ

子どもたちが基礎学力（読み・書き・計算など基礎的な学習内容）をきちんと身につけるためには、学校での授業はもとより、家庭における学習がとても大切です。
そこで、学校では家庭学習について次のようにとらえて全学年で取り組んでいきます。家庭での学習が有意義になるように、低学年・中学年・高学年の手引きを参考にして家庭学習に取り組ませてください。

ねらい	○ 自主的に学ぶ態度を身につける。 ○ 基礎学力をしっかりと身につける。 ○ やるべきことを最後までやりとげる。						中学校			
	低 学 年		中 学 年		高 学 年		各教科			
主な内容	○ 家庭学習の習慣を図る。 (帰宅後に、机に向かう習慣をつける) ○ 宿題(担任から出された課題)等をきちんとやる。 ※ 明日の学習用具等を自分でそろえる。		○ 家庭学習の習慣化を図る。 ○ 宿題等をきちんとやる。 ○ テストのまちがいをもう一度やりなおす。 ○ 自分で考えて宅習(予習・復習等)ができる。 ※ 明日の学習用具等を自分でそろえる。		○ 家庭学習の習慣化を図る。 ○ 宿題等をきちんとやる。 ○ テストのまちがいをもう一度やりなおす。 ○ 自分で計画を立てて宅習(予習・復習等)ができる。 ※ 明日の学習用具等を自分でそろえる。					
時間	30分		40分		50分		60分	70分	80分	100分 ~120分

※ 家庭学習の時間は、だいたいの目安です。個人差もありますが、各学年の学習時間を目標に取

※ 家庭学習の時間は、だいたいの目安です。個人差もありますが、各学年の学習時間を目標に取り組ませてください。

※ 月曜日から金曜日までは、各学年の手引きを参考にして学習に取り組み、土、日曜日は、様々な体験活動やお手伝いなどに取り組ませてください。

【留意していただきたいこと】

◆ 子どもたちの学習状況に関心を持ちましょう。

- ・ 毎日だいたいどんな宿題等があるのか知っておく。
- ・ 声かけや見届けを行い、やったことをほめる。（見届けのサインをお願いします。）
- ・ 家庭学習の大切さについて子どもと話す。
- ・ 分からないときなど相談にのる。

◆ 家庭学習の手引き（低・中・高学年）を活用しましょう。

- ・ 各学年の学習の手引きは、子どもたちが自分で考えて学習するときの手助けになります。毎日の学習に積極的に活用していきましょう。

◆ 「時間」を確保しましょう。

- ・ 一日に学習する時間を決めておきましょう。決まった時間に学習することが大切です。

◆ 環境を整えましょう。

- ・ 静かな環境で集中して取り組めるようにしましょう。
- ・ 学習用具をそろえておきましょう。

【下敷き、筆箱（鉛筆5本・赤鉛筆・青鉛筆・消しゴム・定規を入れておく）】

◆ 担任（学校）と連絡を取り合しましょう

- ・ 分からないこと、困ったこと等はどんなささいなことでも相談してください。
- ・ 家でがんばっていること等もどしどしお知らせください。担任（学校）と家庭が連携していくことで、子どもたちの自主性をさらに伸ばしていきましょう。

家庭学習の手引き（1・2年生用）

このてびきは、1・2年生のみなさんが家や学園でどんな学習をすればよいかをまとめたものです。

1・2年生の学習の時間のめやすは、およそ30～40分です。

はじめる前に

家の人、学園の先生とどんな学習をするのか、ないようをかくにんしましょう。

はじめましょう

- 音どくをしましょう。
 - 教科書や図書の本などを声に出して読みます。
 - 文をおぼえるくらい、音どくをします。
- ひらがな・カタカナ・かん字のれんしゅうをしましょう。
 - 先生のお手本や教科書などを見て、書きじゅんに気をつけて書きます。
 - かん字は、読みがなやおくりがなまでていねいに書きます。
- 日記を書きましょう。
 - 1日のできごとで、心にのこっていることを、じゅんじょよく書きます。
 - 、「 」やならったかん字を使います。
 - 書き終わったら1回読んで、まちがいがなければ、たしかめます。
- プリントの学しゅうをしましょう。
 - 先生からわたされたプリントをやります。
 - プリントがないときは、きょう学しゅうしたもんだいや、にがてなもんだいにちょうせんします。
- 1～4まで早くおわったら、自分で考えて学しゅうをしましょう。
 - テストがかえされたら、まちがったところをもう一どとしてみる。
 - きょう、学校で学しゅうしたことのおさらいをする。
 - すすんでどく書をする。

おわったら

- いえの人・学園の先生に、学習したものをみせて、サインをもらいましょう。
- あしたの時間割をたしかめて、しゅくだい、教科書、ノート、したじき、ふでばこをランドセルに入れましょう。
- ふでばこに、えんぴつ（5本）、赤えんぴつ、青えんぴつ、けしゴム、じょうぎがはいっているか、たしかめましょう。えんぴつは、けずっておきましょう。
- たいいくふく、ハンカチ、ちり紙、ぼうし、ネームなどひつようなものをじゅんびしましょう。

家庭学習の手引き（3・4年生用）

めあて

- ☆ 毎日つづけて学習しましょう。（50分～60分）【継続は力なり】
- ☆ 文字をていねいにかきましょう。

【家庭学習を始める前に】

- 学習に集中するために、テレビやゲームのスイッチを消しましょう。
- 机の上を整理しましょう。
- 部屋や机の上が暗いときは、明かりをつけましょう。

【家庭学習の進め方】

- 読み・書き・計算を中心に、毎日続けましょう。

◆ 音読をしましょう！

読み

- 国語の教科書で学習しているところなどを声に出して読みましょう。
 - ・ はっきりと ・ ゆっくりと
 - ・ 正しく ・ 感じをこめながら
- 文をおぼえるくらい読みましょう。
- だれかに聞いてもらいましょう。（音読カードにサインをもらいましょう。）
- 音読カードに反省を記入しましょう。

◆ 漢字の練習をしましょう！

- 今、国語の時間にならっている漢字を書きましょう。
 - ・ 漢字ドリルを見て、書き順を確かめながら
 - ・ 「とめ」、「はね」、「はらい」に気をつけて
 - ・ 読み仮名や送り仮名も
 - ・ ていねいに、正しく、きれいに

書き

◆ 日記を書きましょう！

- その日にあった出来事などで、いちばん心にのこったことを一つ選んで書きましょう。
 - ・ ならった漢字をつかって
 - ・ ていねいな文字で
- 曜日ごとのだいたい
月（友だちのこと） 火（学校生活）
水（ニュース） 木（読書感想文）
金・土（日）（自由なだいたい）

◆ 計算練習をしましょう！

計算

- 計算ドリルの問題をノートに書いて練習しましょう。
 - ・ 時間をはかってやってみましょう。
 - ・ すんだら答えあわせをして、ていせいをしましょう。
 - ・ 筆算はかならずじょうぎで線を引き、くらいをそろえて書きましょう。

※ テストが返されたら、自分がまちがえたところをかならずていせいしましょう。

※ 宿題プリントがあったときは、それを中心にしましょう。

（その時は漢字か計算練習をしなくてもよい場合もあります。）

※ 進んで読書をしましょう。

- ・ 自分の読書目標冊数にむかって、図書室や家、学園にある本を読みましょう。

【家庭学習が終わったら】

- 学習した内容や時間をたしかめてから、家の人や学園の先生にサインをしてもらいましょう。
- あすの時間割をたしかめて、じゅんびをしっかりとしましょう。
（教科書、ノート、宿題、筆箱、体育服、提出物、ハンカチ、ちり紙、帽子、給食着など）
- 筆箱には、とがった鉛筆（5本）、赤鉛筆、青鉛筆、消しゴム、定規などが入っているかたしかめましょう。

家庭学習の手引き（５・６年生用）

めあて

- ☆ 毎日つづけて学習しましょう。（７０～８０分）【^{けいぞく}継続は力なり】
- ☆ 文字をていねいにかきましょう。



【家庭学習を始める前に】

- ☐ テレビやゲームなどのスイッチを消す。（集中して取り組むことが大切です。）
- ☐ 机の上を整理して、学習用具をそろえる。（教科書・ノート・筆箱・下敷きなど）
- ☐ 明かりをつけてよい姿勢で学習に取り組む。（姿勢がよいと集中力が上がります。）

【家庭学習の進め方】

- 音読、漢字学習、日記、宅習（算数・社会・理科）、読書（１０分以上）

◆ 音読をしましょう！

音読

- 国語の教科書で学習しているところなどを、声に出して読みましょう。
 - ・はっきりと ・ゆっくりと
 - ・正しく ・感じをこめながら
- 文をおぼえるくらい読みましょう。
- だれかに聞いてもらいましょう。（音読カードにサインをもらいましょう。）
- 音読カードに反省を記入しましょう。

◆ 漢字をしっかりと覚えよう！

漢字

（ふり仮名・送り仮名→テスト→

答え合わせ→間違いなおし）

- ① 漢字スキルや漢字音読プリント等をよく見て、ふり仮名と送り仮名を書く。
 - ② 何も見ずに、テストをするつもりで書く。
 - ③ 漢字スキルをよく見て○つけをする。
 - ④ 間違えた漢字は、もう一度練習し、次のページにふり仮名と送り仮名を書いておく。
- ☆ ていねいに、正しく、きれいに

◆ 宅習に取り組もう！

宅習

- １ページ目は、「計算練習」。
教科書や計算スキルの問題をノートに書いて、時間を図って取り組もう。
 - ２ページ目は、「社会や理科の復習」。
その日に学習したことを中心に、復習をしましょう。
- ☆ 学習したことをしっかりと覚えよう！

◆ 日記を書きましょう！

日記

- 曜日ごとの題材
月（読書感想文） 火（説明文）
水（詩・俳句） 木（物語日記）
金・土・日（今週心に残ったこと）
- 次のことを意識して書こう。
 - ・習った漢字 ・ていねいな文字
 - ・表現の工夫 ・事実と意見の区別

◆ プリントに取り組もう！

プリント

- 分からないことがあったら…
 - ・学校で学習したことをよく思い出す。
 - ・教科書を見ながら考える。
 - ・それでも解決できないときは、家の人、先生、友だちにたずねるようにする。

◆ 進んで読書をしよう！

読書

- 最後に１０分間、読書タイムをつくって本を読もう。
- いろいろなジャンルの本を進んで読もう。
- 高学年の「読んでおきたい本３５冊」も、計画的に読みましょう。

【家庭学習が終わったら】

- 学習した内容や時間を確かめてから、家の人や学園の先生にサインをもらいましょう。
- 筆箱の中をチェック。鉛筆は必ずとがしておきましょう。
- 明日の時間割を確かめ、学習や生活の道具を絶対に忘れないようにする。
（教科書、ノート、宅習ノート、筆箱、体育服、提出物、ハンカチ、ちり紙、帽子、給食着など）